

訂正箇所	訂正前	訂正後
■第2章		
30頁第3段落の2行目	数学的な方法	数式の展開によって
31頁6行目	plot(5:25, T1(5:25), type='l')	curve(T1, 5, 25)
31頁7行目～10行目	ここで、plotは散布図を描く関数で、この場合は、横軸の値を5:25、すなわち5から25までの整数とし、縦軸の値を上で作成したT1という関数の値としています。type='l'(エル)は、散布図上の点を線(line)で結ぶオプションで、これによって折れ線グラフを描くことができます。	ここで、curveは関数で表される曲線(直線も含む)を描くための関数で、この場合は、その前に定義したT1のグラフを、横軸5～25の範囲で描かせています(付録C.4参照)。
31頁の最後の行	plot(5:25, T2(5:25), type='l')	curve(T2, 5, 25)
■第3章		
58頁【問題15】の解説の⑥: 「残差の平均は、」に続く式の右辺第2項	$\hat{y}$	$\hat{y}$
63頁【問題23】の解説の最後から3行目	相関係数しか	相関関係しか
■第5章		
108頁【問題14】の3行目	(横軸は帰無分布が標準正規分布になるように標準化されている)	(母集団分散 $\sigma^2$ は既知と仮定し、横軸は帰無分布が標準正規分布になるように標準化してある)
113頁【問題3】の解説の④の最後の行	なるわけです。	なります。 $p$ 値は限界水準、有意確率ともよべれます。
117頁【問題10】の解説の③の中の見出し	c	d
119頁【問題14】の解説の3行目	もとで	もとでの
122頁【問題19】の解説の最後の行	効果量の推定を行い、量的に評価するとよいでしょう。	母集団相関係数の区間推定を行うとよいでしょう。
128頁の下から2行目	尤度(x)	尤度
128頁の下から1行目	対数尤度(x)	対数尤度

■第6章		
147頁【問題1】の解答の②	順序カテゴリ	カテゴリ
149頁【問題3】の解説中、式の2行下：「対しては」の次	$o$	0
155頁【問題14】の解説のd	マッチング変数に関する変動を0に近づけることができます。そのため、その分の変動が	マッチング変数に関する変動が
156頁【問題18】の解説の2行目のかっこ内	付表4	付表2
■第8章		
194頁【問題10】の解説の②の3行目	重相関係数 $R_{y,13}^2$	決定係数 $R_{y,13}^2$
■第9章		
224頁【問題14】の解説のbの2行目	全体の平方和の値よりも大きく	全体の平方和の値と一致しなく
■付録C		
259頁のC.4の見出し	グラフの作成	関数のグラフの作成
259頁のC.4の1行目	変数 $x$ の	(削除)
259頁のC.4の下から3行目	同様に、	(削除)
259頁のC.4の下から2行目	三乗 ( $x$ )	三乗
259頁のC.4の下から1行目	のように入力します。	のように入力します。このように、オプションのない関数の場合、( $x$ )は省略できます。
261頁のC.7の6行目	"Japan(Tokyo)"	"Japan(Tsukuba)"